

1 芍薬甘草湯エキス

2 確認試験(1)の項を次のように改める。

3 確認試験

4 (1) 乾燥エキス0.5 g (軟エキスは1.5 g)をとり、水10 mL
5 を加えて振り混ぜた後、1-ブタノール10 mLを加えて振り
6 混ぜ、遠心分離し、上澄液を試料溶液とする。別に薄層クロ
7 マトグラフィー用ペオニフロリン1 mgをメタノール1 mLに
8 溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマト
9 グラフィー(2.03)により試験を行う。試料溶液及び標準溶
10 液5 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用い
11 て調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル／メタノ
12 ール／水混液(20:3:2)を展開溶媒として約10 cm展開した
13 後、薄層板を風乾する。これに4-メトキシベンズアルデヒ
14 ド・硫酸試液を均等に噴霧し、105 °Cで5分間加熱するとき、
15 試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは、
16 標準溶液から得た紫色のスポットと色調及びR_f値が等しい
17 (シャクヤク)。

18